啐啄そったく

１３５号

平成３０年５月２２日発行

http://www.city.osakasayama.osaka.jp/

gakkou@city.osakasayama.osaka.jp

大阪狭山市教育委員会学校教育グループ

教職員合同研修会

４月４日(水)に『教職員合同研修会』を開催し、市内の学校園から 128 名の教職員が参加しました。

【全体会】

全体会では、平成 30 年度大阪狭山市保育教育指針について、①教職員のチームワークによる、子ども理解に基づく保育や教育の提供　②家庭や地域との連携によるアイデンティアに満ちた学校園づくり　③新学習指導要領に基づく「何ができるようになるか」を明確にしたカリキュラムの編成　に重点を置いて説明しました。

教職員合同研修　全体会

【分科会（第一部）】

支援教育の分科会では、まず初めに「平成 30 年度支援教育の基本方針」が示されました。続いて、①リーフレット「さやまの支援教育」について　②「支援学級教育課程実施方法」について　③冊子「さやまの通級」について、の順に説明がありました。そして「ともに学び、ともに育つ」機会の拡充を進め、相互理解と互いに認め合える集団づくりを促進するとともに、各学校園が主体的に保護者や地域社会に対して理解啓発に努めることを確認しました。

支援教育　分科会

生徒指導の分科会では、「平成 30 年度生徒指導の重点」にについて説明した後、小中学校の生徒指導担当やフリースクールみらいの指導員が中学校区別に集まり、活発な情報交換が行われました。最後に、各中学校区の状況を全体で共有しました。

生徒指導　分科会

初任者指導　分科会

初任者指導の分科会では、「教職員の服務～初任者としての心構え～」について、市教委のアドバイザーから指導を受けました。

その後、指導主事より、本年度実施される初任者研修について説明がありました。

【分科会（第二部）】

少人数・習熟度別指導の分科会には、各小中学校の管理職、習熟度別指導担当、授業改善推進リーダー、確かな学び担当等の教員が参加しました。それぞれの担当には明確なミッションがあり、それを達成させることを第一に考え取組みを進め、各学校の学力向上につなげてほしいと説明がありました。

少人数・習熟度別指導　分科会

さやまの教育の一層の充実に向けて、今年度も好スタートを切ることができました。

平成 30 年度　入学式

平成３０年４月６日(金)

４月６日(金)に、市内の小中学校の入学式が行われました。午前には小学校７校に、５０７名のピカピカの１年生が入学しました。保護者や来賓の方々に見守られて入場する子どもたちの顔は、みんなとても輝いていました。

午後には、中学校３校で５１３名の新入生が、在校生に迎えられて元気よく入場しました。どの学校も、新しい年度の素晴らしいスタートをきることができました。

小学校の入学式風景

中学校の入学式風景

H30全国学力・学習状況調査

４月１７日(火)に、「平成３０年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。本調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることです。また、その取組みを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するために実施するものです。

第七小学校　６年生

対象は小学６年生と中学３年生で、教科に関する調査は国語、算数・数学、理科の３科目です。主として「知識」に関する問題Ａと、主として「活用」に関する問題Ｂにわけて（理科は問題ＡＢを一体的に問う）実施されました。その他、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査も行われました。

第三中学校　３年生

小学校・中学校ともに、みんな真剣に集中して問題に取り組んでいて、どの教室にも鉛筆を走らせる音だけが響いていました。

新1年給食スタート

４月１８日(水)に、市内全小学校で１年生の学校給食がスタートしました。当日のメニューは、ごはん・牛乳・てりやきハンバーグ・だいこんの昆布あえ・たまねぎのみそ汁です。

西小学校では、初めての給食なので担任外の教員も給食準備の応援にかけつけていました。担任からは給食当番の子どもたちにエプロンのつけ方から指導していきます。

西小学校　１年生

いよいよ配膳、１年生は順番に並んで給食当番が盛りつけた食器を受け取り、全員の配膳完了。みんなで一緒に楽しく食べる給食は本当に美味しいと、ほとんどの子が残さず食べられたようです。片づけも食器の種類ごとに上手に揃えることができて、初めての給食は無事終了しました。

2018 狭山池まつり

4月28日・29日

４月２８日(土)２９日(日)に『狭山池まつり』が実施されました。一周およそ2.85㎞の狭山池は、歴史的価値の高い日本最古のため池として、はるか遠い飛鳥の時代から、悠久の時を刻んできたふるさと狭山の誇りです。また、憩いの場としても親しまれ、愛されてきました。

この狭山池まつりに多くの市民が集い、豊かにコミュニケーションすることによって、大阪狭山の文化と活力が生まれてきます。

今年のテーマは「狭山池であいましょう」です。市内の小中学校からは、多くの生徒と教職員が参加しました。龍神舞台の「ブラスフェスタ」では、第三中学校・南中学校・狭山中学校の吹奏楽部が順番に出演して、素晴らしい演奏を披露してくれました。また、西小学校 PTA のブースでは、西小学校の先生十数人が交代で、フランクフルトやソースせんべいのコーナーを担当していました。

第三中

南　中

狭山中

西小 PTA

２８日(土)の夕方からの『灯火輪(とうかりん)』の準備には、市内の小中学校から約６０人の教職員が参加しました。午後６時、１番と５番のテントに集合した先生たちは活動内容の説明を聞いた後、それぞれの担当場所に分かれていきます。そして、狭山池の堤に灯火台セットを等間隔に手際よく並べました。

午後７時、いよいよ点火。狭山池全体が幻想的な灯りに包まれます。このまつりを通して、市民やスタッフの皆さんと一緒に活動し、交流を深めることができました。

灯火輪